

数学

<全体分析>

試験時間	120分	解答問題数	6題
------	------	-------	----

解答形式

全問穴埋式

分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加）

難易（易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化）

出題の特徴や昨年との変更点

受験生を戸惑わせるような表現や設定が多い。
 立体図形の問題、計算力を要する問題が多い。
 昨年と同様、立体図形の問題が出題された。
 時事ネタ（昨年度は感染症）の問題が無かった。
 問題VIのような経済学への応用問題は頻出である。

その他トピックス

計算力、読解力を要する問題が多い。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
I (1)	整数	数学A	ユークリッドの互除法	やや易
(2)	整数	数学A	余りの計算が最大となるような2数の決定 不等式を満たす有理数の決定	やや易
II	積分	数学II	積分で表された関数	やや易
III	整数 確率	数学A 数学A	魔法陣を元に作られたサイコロと確率の大小比較	標準
IV	場合の数 確率	数学A 数学A	座標平面上の格子点を移動する2点が接触しない 確率	標準
V	空間座標	数学B	立方体の辺に接する球	標準
VI	2次関数	数学I	コストや交渉決裂を考慮し、利益の最大化を考える	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

難しい問題や見慣れない問題と典型的な問題が混在しているので、解きやすそうな問題から解いていくことが大切である。

一見すると見慣れないタイプの問題でも、題意をしっかりと読んで対応すると、よく知られている事柄であることに気づかされることも多い。

立体図形、平面図形、離散数学もよく出題されるので、この分野の問題もたくさんこなしておきたい。

要領よく解かないと計算の負担が重く時間的に解ききれないものが多い。計算力を鍛えるだけでなく数学的センスも磨いておきたい。